

RELO CLUB

リロクラブがカゴメとサービス提携 福利厚生倶楽部に入会する 19,200 社に向けて カゴメ「健康サポートプログラム」で健康経営のさらなる充実を！

FUKURI KOSAI CLUB
30TH
ANNIVERSARY

福利厚生アウトソーシングサービスのトップカンパニーである株式会社リロクラブ(本社:東京都新宿区、代表取締役社長 岡本 盛 <https://www.reloclub.jp/>)は、カゴメ株式会社(本社:愛知県名古屋市、代表取締役社長 山口 聡 <https://www.kagome.co.jp/>)とサービス提携し、当社が運営する「福利厚生倶楽部」の19,200社・会員710万人^{*1}へ、カゴメ「健康サポートプログラム」のサービス提供を2023年10月より開始いたしました。

今後は健康経営^{*2}などに関するセミナーなどを人事担当者向けに共催し、従業員の健康増進を支援してまいります。



■本当の意味での健康経営を目指そう！

経済産業省が「健康経営銘柄」の選定を開始した2014年が本格的に健康経営の推進に取り組み始めた年とされており、2016年には健康経営優良法人認定制度がスタートしました。

「健康経営とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践すること」と定義され、多くの企業が健康増進をコストではなく投資として捉え、企業価値向上に結びつけられるよう努力するようになりました。

本格的な取り組みから10年、コロナ禍を経て多様化する時代の中で、評価項目を単純にクリアし認定されればいいのかではなく、その改善策と結果内容の濃さも注目されはじめています。

みせかけの健康増進ではなく、本当に従業員が健康になっているのかを数値として理解していくこと、つまり改善効果の見える化が、今後、重要になっていくことでしょう。

リロクラブでは、これまでも福利厚生倶楽部入会企業の要望やお悩みを元に、多くのサービスを開発・提供してまいりました。アプリを使ったりリモートウォーキングイベントの開発・促進(<https://www.reloclub.jp/case/sekisui/>)も、コロナ禍での健康増進を模索していた入会企業とのコラボにより展開し、健康経営銘柄取得のサポートとなりました。

健康経営認定における次なる課題解決策として、食生活の改善を分かりやすく目に見える形でお届けしたいというリロクラブの思いと、長きにわたり食の課題に取り組み人々の健康に寄与してきたカゴメの実績が共鳴し、入会企業でもあるカゴメとのサービス提携を実現することができました。

本気で従業員の健康増進に取り組む企業への、改善効果の見える化施策としてサービス展開してまいります。

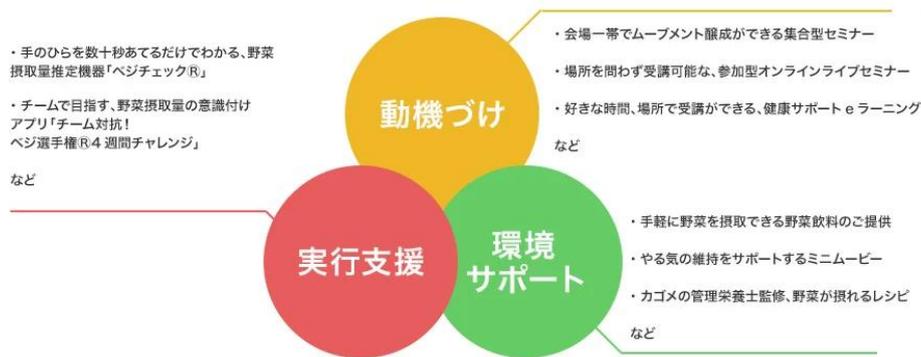


■楽しみながら「食生活改善への意識・行動」を継続させるのがコツ

食生活改善に無関心な方に、社員食堂でのヘルシーメニューを提供しても、そのメニューが選択される機会は少ないでしょう。そこで、健康的な食生活に興味を持たせる動機づけが重要となってきます。

そして、従業員個人だけで健康になるのは難しく、従業員の家庭から健康意識を変えることが大切です。つまり、食卓やプライベート・通勤などの生活導線上に健康経営の取り組みを組み込んでいくことで、継続性が維持できると考えています。

カゴメ「健康サポートプログラム」では、野菜 350g/日摂取を支援する「動機づけ」「実行支援」「環境サポート」の PDCA を通じ、健康への行動変容を促します。



リロクラブがこれまで提供してきた健康経営のサポートの中でも、健康意識の改善が高くみられた「Relo 健康サポートアプリ」を使用したチーム対抗ウォーキングイベント。

普段、運動や歩くことに意識をしていなかった従業員が、チーム戦であることにより仲間との励ましあいや一体感にて、大きな行動変容を起こすことができました。(<https://relo.box.com/s/9y6siamolm2dma0i4bqwd001yns7hov0>)

カゴメ「健康サポートプログラム」でも野菜摂取量推定機「ベジチェック®」の機能を応用し、アプリ「チーム対抗！ベジ選手権®」の開催が可能です。つまり、ウォーキングイベント同様に、楽しみながら食生活を改善できるアプリ企画なのです。

カゴメ株式会社 健康事業部によると、「まず、『誰かと一緒にやります』ということ宣言させること、そして自分がチャレンジしていることを他のメンバーに伝えること、チームで競い合うことにより、楽しみながら取り組むことができます」とアプリ「チーム対抗！ベジ選手権®」のコミュニケーション効果の高さを伝えています。



＜「チーム対抗！ベジ選手権® 4週間チャレンジ」アプリの画面イメージ＞

■左：所属しているチームの「順位」や「ベジハンド」、「ベジチェック」の状況を表示します。

■中央：片手一杯の野菜（1ベジハンド）を約 60g として数えて、ベジハンドの数を毎食入力します。

■右：順位付けして競い合うことで、チーム一丸となって食生活の改善意識を高めます。

個人で頑張った結果が、チームとして評価され、健康になれるのであれば一石二鳥であり、コロナ禍で低下していた社内コミュニケーションの活性化にもつながり一石三鳥となります。

認定のための取り組みはつらいものではなく、楽しみながらおこなう。結果は数値で把握するというのが、健康経営の取り組み方の次のステップではないでしょうか？

▼リロクラブ会社概要【動画】 116MB/04'00”

<https://www.reloclub.jp/movie/profile/>

▼RELO 総務人事タイムズ <https://www.reloclub.jp/relotimes/>

福利厚生、働き方改革、健康経営、人的資本経営、人事・組織開発を通じて、従業員満足を目指す総務・人事・経営者のための総合情報メディア



※1 2023年6月1日現在

※2 「健康経営」は、NPO 法人健康経営研究会の登録商標です

※3 画像は全てイメージです

《本件に関するお問い合わせ》

株式会社リロクラブ

◆取材に関するお問い合わせ TEL:03-3225-1730

広報担当: 津島 Email: reloclub-pr@relo.jp

◆福利厚生倶楽部入会お問い合わせ:03-3225-1730